

令和元年10月16日

JESCO

北九州PCB処理事業所第1期施設の解体撤去の進捗概要

進捗概要 (資料4-1-1参照)

●解体撤去・先行工事による手法・技術の確認

「JESCO施設 解体撤去マニュアル(平成30年3月版)」にそって、先行的にPCB除去分別や解体撤去を行い、各種手法・技術の安全性、有効性、作業性を確認し、明らかになった留意点を、解体撤去・本工事に反映させていくこととしている。

【令和元年度～2年度予定】

先行工事は汚染レベル及び設備構成を考慮し下記対象設備を選定した。(資料4-1-2)

- ・グローブボックス装置：前処理設備系／作業管理区域レベル3
- ・破砕分別設備：前処理設備系／作業管理区域レベル3
- ・粗解体設備：前処理設備系／作業管理区域レベル2
- ・真空加熱分離装置・木酢液処理装置
：液処理設備系／作業管理区域レベル1、レベル2

※先行工事の対象設備は、今後の進捗により変更することがある。

最初の先行工事としてグローブボックス(以後GBという)内の機器の解体工事に令和元年6月17日着手した。この先行工事は解体撤去マニュアルを踏まえて、解体工事に先立ち、GB内のPCB状況調査、除去分別(高濃度PCB除去、付着部分の分別)後にGB内部機器の解体工事を行い令和元年8月8日に完了した。

その他の先行工事対象設備は計画中で今後実施の予定。

<資料>

資料4-1-1 北九州PCB処理事業所第1期施設 解体撤去に係る全体スケジュール

資料4-1-2 先行工事 対象設備 配置図

資料4-1 (参考資料) 平成30年度第2回PCB廃棄物処理事業検討委員会

資料7 北九州PCB処理事業所第1期施設解体撤去の進め方

以上

北九州PCB処理事業所第1期施設 解体撤去に係る全体スケジュール

	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
処分期間、事業終了準備期間	計画的処理完了期限▽		事業終了準備期間					
北九州市PCB処理事業監視会議	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
ステージ	営業物処理	解体撤去-第1段階-			解体撤去-第2段階-			
第1期施設 装置・設備の稼働予定								
営業物処理に係る装置・設備	抜油・粗解体設備等							
解体撤去準備作業に係る装置・設備		洗浄設備、液処理設備、蒸留回収設備等						
周辺環境、作業者の安全衛生に係る装置・設備	空調設備、排気処理設備、モニタリング設備、電気設備、排水処理設備等							
解体撤去-第1段階-								
1)解体撤去・先行工事による手法・技術の確認	先行工事等準備							
2)解体撤去・本工事の事前作業	事前作業準備							
3)解体撤去・本工事の実施計画の作成	社内検討							
4)解体撤去・本工事の仕様取りまとめ、入札・発注	社内検討							
5)解体撤去・本工事の施工計画作成、施工準備								
解体撤去-第2段階-								
解体撤去・本工事の施工					プラント設備 除去分別・解体工事	建築物 除去分別	建築物 解体工事	

今後の検討の進捗により、変更になる場合があります。

平成30年第2回ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会

平成31年3月26日
中間貯蔵・環境安全事業株式会社

北九州PCB処理事業所第1期施設解体撤去の進め方

1. 解体撤去の基本的な考え方

操業終了後のPCB廃棄物処理施設内の配管・タンク内部、機器表面等にはPCBが付着・残留していることから、JESCO施設の解体撤去の実施に当たっては、環境中にPCBを排出させないように周辺環境への配慮を行うこと、作業者の安全衛生管理を行うこと、解体撤去に伴うPCB廃棄物はすべて無害化することを解体撤去の基本方針としている。

《解体撤去の基本方針》

- ・周辺環境への配慮
- ・作業者の安全衛生管理
- ・解体撤去に伴うPCB廃棄物の無害化处理

また、解体撤去の実施に係る情報共有は次に示す方針により、具体的方法は立地自治体等と協議を行いながら定めて行くこととしている。

《情報共有の方針》

- ・立地自治体等との事前協議
- ・解体撤去前の監視会議、地域住民との情報共有
- ・解体撤去開始後の進捗等の情報共有

世界に類を見ないPCB廃棄物処理施設の解体撤去を安全確実に行うため、これまでの施設の維持管理の経験、知見を基礎にしつつ、学識者の助言・指導を得て、JESCOの全ての処理施設の解体撤去に適用する「JESCO施設 解体撤去マニュアル(平成30年3月版)」を取りまとめている。解体撤去マニュアルは、解体撤去の基本方針を達成するための考え方、解体撤去で留意すべき事項を示している。

JESCO施設の解体撤去は、この解体撤去マニュアルにそって、また、作業ごとの施工要領書等を作成して実施する。

2. 北九州PCB処理事業所第1期施設の解体撤去の進め方

北九州PCB処理事業所1期処理施設の解体撤去は、JESCO施設共通に適用する解体撤去マニュアルと作業ごとの施工要領書等にそって、周辺環境に配慮し、安全を確保して進めるが、より安全かつ円滑に実施するために、段階的に実施することとしている(別紙参照)。

(1) 解体撤去—第1段階—

①解体撤去・先行工事による手法・技術の確認

施設内の一部設備を対象に先行的にPCB除去^{*}や解体撤去を行い、各種手法・技術の安全性、有効性、作業性を確認する。確認によって明らかになった留意点は、解体撤去・本工事の実実施計画(③参照)の検討に当たって考慮する。

先行工事は、操業時と同様に空調設備の稼働、排気の監視によって周辺環境への配慮、安全管理を行って実施する。【平成30年度～31年度予定】

※高濃度PCBを拭き取り等により除去したり、付着部分を分別する作業を指す。

②解体撤去・本工事の事前準備作業

徹底した清掃を行い、工具、資機材、作業くず等の残置物を撤去するとともに、配管やタンク内に残されたPCB含有油を事前に作成する作業ごとの施工要領書等に基づき、液抜き、洗浄を行い、施設内の高濃度PCBをできる限り除去する。

こうした解体撤去・本工事の事前準備作業も、操業時と同様に空調設備を稼働させ、排気の監視を行い、周辺環境への配慮、安全管理の下、実施する。

【平成31年度～32年度予定】

③解体撤去・本工事の実実施計画の作成

解体撤去・本工事の実実施内容、実施体制などを示す「解体撤去工事实実施計画」を作成する。先行工事における手法・技術の確認を通じて明らかとなった留意点も考慮し、取りまとめる。【平成30年度～32年度予定】

④解体撤去・本工事の仕様取りまとめ、入札・発注

解体撤去工事实実施計画を踏まえ、解体撤去・本工事の発注仕様を取りまとめる。仕様書に適合する技術提案を募集し、審査も行って、最も適切な工事事業者を選定して発注する。【平成31年度～33年度予定】

⑤施工計画の作成、施工準備

工事を受注した事業者が、解体撤去工事实実施計画や工事契約に基づき、JESCOと協議を行って施工計画を作成するとともに、施工準備を進める。【平成33年度予定】

(2) 解体撤去－第2段階－

解体撤去・本工事の施工

受注した事業者が、解体撤去工事实施計画及び承認を受けた施工計画にそって、必要な安全管理を行いつつ工事を実施する。モニタリング等を行って工事の状況を把握し、周辺環境への配慮、安全の確保を行う。

事前準備作業によりプラント設備の高濃度PCBは除去されているが、PCBの残存状況を確認して、必要なPCB除去を行う。その後、順次、プラントを解体し、撤去する。これらの作業も、空調設備の稼働、排気の監視によって、周辺環境への配慮、安全管理を行って、実施する。

次に、建築物の床面、壁面等の付着個所を確認し、PCBの付着があればPCB除去を行う。ここまでは基本的に屋内の作業となる。これらの作業も、空調設備の稼働、排気の監視によって周辺環境への配慮、安全管理を行って、実施する。その後、建築物を解体し、撤去する。

【プラント部分のPCB除去・解体撤去；平成34年度～35年度予定】

【建築物のPCB除去；平成36年度予定】

【建築物の解体撤去；平成37年度予定】

※今後の検討の進捗により、時期は変更になる場合もある。

<資料>

別紙 北九州PCB処理事業所第1期施設 解体撤去に係る今後の予定

以上